



No. 601

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

日米共同の「戦争する国づくり」を許すな
たたかう2万人同盟を建設しよう！

主 な 記 事

- 第41回全国大会開催 1
- 新役員名簿 2
- 私も一言／千野律子 3
- 抵抗の群像／森下いく 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

第41回全国大会特集

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、6月19〜20日、東京・文京区の全労連会館で、第41回全国大会を開催。稀代の悪法・治安維持法が公布されて来年で100年を迎える節目で、「戦争と弾圧はスクラムを組んでやってくる」（全国大会報告）、「新しい戦前」が急激に進行する情勢にあつて国賠同盟の活動の真価が問われている、と2年間を総括し、新たな運動方針、中央本部新役員（2ページ）を決めました。

「岸田自公政権の『戦争する国づくり』に反対し、市民と立憲野党の共闘による政権樹立をめざす」、「（都知事選での）蓮舫知事誕生に全国の支援を」の2決議を採択しました。

大会には代議員、評議員、顧問ら160人が参加。最上健造副

会長が開会を告げ、この間亡くなった、柳瀬精

名誉会長、近江谷昭二郎顧問、犠牲者の水谷安

子さんから同盟の幹部・会員の冥福を祈って黙と

うを捧げました。来賓として日本共産党の山添

拓政策委員長、自由法曹団の山添健之事務局長



があいさつしました。

(2ページにつづく)

(1ページからつづく)

あいさつに立った吉田万三会長は国内外情勢の特徴にふれ、自民党の裏金問題で岸田政権の支持率が急落している中でも、武器輸出の解禁、経済秘密保護法や地方自治法改悪など大軍拡・戦争する国家への策動が着々と進行していると指摘。差し迫った東京都知事選で自民党政権と「同じ穴のムジナ」である小池都政にストップをかけた「東京から日本を変えよう」と呼びかけました。

田中幹夫事務局長は「戦闘機の生産・輸出、ミサイルの日米共同生産、5年間で43兆円の大軍拡、

『戦争する国づくり』許すな。大企業の目先の利益優先の小池都政

を七夕選挙で

審判を下し、

自民党政治終

えんの、のろ

しを上げよう

2万人同盟へ

会員と署名の自主目標の達成を」と

題する大会への報告と提案を次のように述べました。

(1) 国会請願署名

5月15

日、51回

目の国会

請願には

36都道府

県から代

表150

人が参加、

生活図画

事件の犠

牲者で1

02歳の菱谷良一さんも元気な姿

を見た。衆院56議員、参院37

議員が紹介議員になった。提出さ

れた署名は11万4000筆となっ

ている。

(2) 大会成功目指す「特別期間」

の取り組み

千葉県が650人自主目標を達

成、北海道本部が1303人で超

過達成。自主目標達成は熊本、新

潟、埼玉に続いて千葉、北海道。

過去最高の会員数は北海道、千葉、

東京、埼玉、静岡、滋賀、兵庫、

長崎、熊本の9県。「5人拡大」

「10人拡大」挑戦者が全国で登場

している。

(3ページにつづく)



盛り上がった懇親会

会 長		吉田 万三	大野 辰男	茨城・久保田俊雄
副会長		岩下 美佐子	小澤 睦夫	和歌山・南條 佳弘
事務局長		大石 喜美恵	江藤 みさお	鳥取・竹中 寿健
事務局次長		小松 憲郎	田中 鉄夫	鳥根・小玉 信恵
事務局長		佐野 彰義	尾西 洋子	岡山・河合 伸士
最上 健造		田中 幹夫	利幸 信之	広島・岡本美咲子
若山 晴史		勝呂 伸子	千葉 七里 一司	山口・松富 昭子
事務局長		高井 節子	千葉 渡邊喜代子	徳島・山本 茂喜
永島 民男		早崎 末浩	東京 龍野 紀義	愛媛・堀内 英昭
榎本 よう子		勝部 志郎	東京 阿部 俊雄	香川・考岡 弘子
事務局員		古谷 道代	東京 志賀 正	高知・森岡 幸一
和泉 寿子		甲斐 富貴雄	東京 高橋 博	福岡・中西 和也
常任理事		加藤 宜之	神奈川 浜本 大蔵	長崎・上田 清一
中嶋 育雄		高村 鈴枝	神奈川 塩田 儀夫	熊本・渡邊 靖弘
内野 明和		上田 久美	神奈川 南須原 圭	大分・新角千恵子
吉鶴 明学		永田 勝美	神奈川 南須原 圭	宮崎・日高 隆司
井藤 英治		村山 純	神奈川 南須原 圭	鹿児島・上野 辰彦
澤田 勝雄		西須 輝理	神奈川 南須原 圭	沖繩・大城 辰彦
中村 茂樹		益子 良一	神奈川 南須原 圭	富矢 信男
歌代 英蔵		柿沢 繁	神奈川 南須原 圭	四津谷 伸子
河野 ともみ		北海道・本間 昭一	神奈川 南須原 圭	栗田 翠
小野 幸男		北海道・隼野 弘子	神奈川 南須原 圭	林 洋武
瀬野 幸男		北海道・島山 忠弘	神奈川 南須原 圭	山崎 敏元
小松 敦		青森 館田 篤広	神奈川 南須原 圭	井上 敏江
高橋 妙子		岩手 田中 館安子	神奈川 南須原 圭	藤田 廣登
清水 邦治		宮城 横田 有史	神奈川 南須原 圭	有川 恒夫
風間 秀子		秋田 藤田 精士	神奈川 南須原 圭	矢島 汎
永田 佳		山形 白根沢澄子	神奈川 南須原 圭	宮田 汎
濱谷 正支		福島・目黒 剛夫	神奈川 南須原 圭	松本 洋一郎
石嶋 春美			神奈川 南須原 圭	小池 庄市
酒井 利男			神奈川 南須原 圭	石村 善治
長谷田 直之			神奈川 南須原 圭	横山 博子
加藤 直之			神奈川 南須原 圭	特別顧問
			神奈川 南須原 圭	萩野 富夫
			神奈川 南須原 圭	五十嵐 仁
			神奈川 南須原 圭	渡辺 治
			神奈川 南須原 圭	内田 博文

(2ページからつづく)
 (3) 地方議会での意見書
 前大会以降はなし。各市町村議員に「国会議員の皆様へ」リーフを持って国賠署名のお願いにうかがいましよう。

(4) 犠牲者名簿作成
 同盟県本部の重要な活動である。埼玉県本部の名簿は9月完成、京都府本部も作成中。『抵抗の群像』を使つての読書会が重要。

(5) 国際活動
 国際人権活動日本委員会との連携を強め、治安維持法犠牲者問題の日本政府への勧告に努力。COLAP 2024に対応。

(6) 同盟活動
 6月1日現在の会員は1万6934人。前大会から373人増、プラス県は16県、プラマイゼロ1県、マイナス県30。
 ほかに、支部建設、女性部の確

立、青年支部の交流会開催、『学習テキスト』を全会員に普及、ブロック交流集会の開催、第33回全国女性交流集会(11月)、財政問題などが提案されました。



討論のまとめを永島民男新事務局長が行いました。大会では44人が発言、3人が文書発言しました。

(4ページにつづく)

秘一言

今、東京では、都知事選挙がスタートし、7月7日の投票日に向けて選挙戦の真つ最中です。
 今までの都政8年間は、我々年金生活者の声をまったく聞かず、高齢者福祉を立て

国賠同盟、年金者組合の一員として「不屈」の精神で諸活動に

千野律子

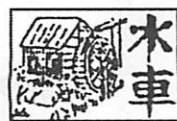
さて、同盟も年金者組合も高齢者が多い組織です。でも長年の人生、それぞれの活動経験を大いに発揮して「ふたたび戦争と暗黒政治の復活を許さない」「憲法9条と平和を守る」「人権とジェンダー」「年金の引き上げ」等々の活動をして行きましよう。
 私も国賠同盟、年金者組合の一員として、平和と民主主義を求め、闘い半ばでたおれた有名無名の多くの犠牲者の思いに寄り添い「不屈」の精神で諸活動に取り組んで行きたいと思っています。

直す事もなく財界ファーストの都政でした。
 都庁舎を照らすプロジェクト
 クションマッピングに2年間で48億円も税金を使



うとは驚きと怒りでいっぱいです。
 自民党政治に審判をくだし、市民と野党の知事になってもらいたいです。

(全日本年金者組合東京本部執行委員長)



「75歳で同盟に入りここまで充実した人生をおくっており、感謝」「危機と希望のせめぎ合い。自公

政権は断崖絶壁追い込まれており、政権交代も可能」。治安維持法犠牲者国家賠償同盟の41回大会は盛り上がりました▼なかでも女性の活躍が目立ちました。高知では女性の活動を広げようと犠牲者5人にインタビューして本を出版。愛知では同盟を知ってもらおうと映画上映を続けて知名度はアップ。つぎの映画上映のリンクエストも▼参加者に確信を与えたのが渡辺治一橋大学名誉教授の記念講演。来年は治安維持法制定から100年。この80年間は「戦争と暗黒政治」への逆行を許さず、平和憲法が生きていることに確信を。自公政権を倒して、彼らの企みに終止符を▼夜の交流会はさらに盛り上がり絶頂に。中央合唱団の合唱のほか民謡やハーモニカ演奏などの出し物も。最後はスクラムを組んで「沖繩を返せ」「がんばろう」を合唱。心を一つにしました。(鶴)

(3ページからつづく)

◎村山純(沖縄)

県議選へのたたかいと全国からの支援にたいする感謝。

◎大野辰男(埼玉)

春と秋に特別期間を県独自に設定し会員拡大で500人を突破した活動と教訓。

◎歌代英蔵(北海道)

会員拡大1300人突破と推進ニュースの発行について。

◎岩下美佐子(国際部長)

国際活動と北海道旅行の企画について。

◎上田精一(長崎)

映画も活用しながら、島原支部に続いて五島、壱岐にも支部を。

◎長谷田直之(群馬)

9月1日の「伊勢崎多喜二祭」の成功に向けて。

◎大石喜美江(大阪)

大阪万博の目的は、万博の跡地にカジノをつくるのがねらい。

◎はた愛(高知)

女性部の活動と特定利用港湾問題について。

◎畠山忠弘(北海道)

北海道で6月11日に1300人

を達成した教訓。

◎若山晴史(愛知)

文化と歴史から学び、質的にも量的にも大きな組織へ。

◎小日向昭一(新潟)

危機と希望のせめぎ合いのとき、支部を増やし、500人、1000人の組織を目指す。

◎甲斐富貴雄(大阪)

大阪府本部発行の『犠牲者名簿』の活用を。

◎山本佳代子(愛知)

同盟の名前を知ってもらう取り組みを持続的に続ける。

◎尾西洋子(石川)

能登半島地震と支援募金のお礼と被災者訪問で会員を拡大。

◎早崎末浩(静岡)

支部建設と世代的継承を目的意識的に取り組むことが重要。

◎中嶋育雄(東京)

都知事選勝利に全力。東京が変われば、日本が変わるを合言葉に。

◎渡邊喜代子(千葉)

支部会議が重要。署名と入会申込書をいつもバッグに。

◎河井信士(岡山)

1人、2人ならだれでも増やせ

る取り組みにしていきたい。

◎橋本静修(埼玉)

駅前宣伝ではハーモニカを演奏。楽しく宣伝していきたい。

◎中村鈴枝(山口)

田中サガヨの集会には遺族が9人参加。過去と未来が見える活動を続けたい。

◎小野ともみ(宮城)

顕彰活動を重視。7月の県大会までに300人にして迎えたい。

◎小澤睦夫(神奈川)

支部で「種まく人々」などのDVDを見る学習会を重視。

◎新角千恵子(大分)

「不屈」の発送と会費集めに追われる。26人に減った会員をなんとか150人に挽回したい。

◎高原久美(徳島)

来年の治安維持法制定100年に向け、今年のたたかいが重要。

◎白根沢澄子(山形)

謝罪と賠償が実現するまで続け、2世、3世に引き継がれるべき。

◎田中隆夫(兵庫)

八鹿高校事件から50年、事件は社共分断が狙いだった。

◎小玉信恵(島根)

衆院補選の野党勝利のカギは自民党女性支部が離れたから。

◎田中鉄夫(山梨)

新役員の1人が県の「不屈」の編集を担当。変わったと評判。

◎南須原圭(神奈川)

自分の子どもに治安維持法をどう話していくか?

◎小室仁弥(埼玉)

77歳から同盟に誘ってもらい、充実した人生をおくる。

◎田中徳光(新潟)

上越に平和の波を——目指して30カ月連続で会員を増やし88人に。さらに100人にしたい。

◎伊藤恵美子(奈良)

長谷川テル訪問記念の碑について。

◎松橋慶子(青森)

お茶とお菓子で、ワイワイガヤガヤのジェンダーカフェを開催。

◎澤田勝雄(中央)

『治安維持法と現代』を学習会などで活用を。

◎小松敦(千葉)

会員拡大で650人を達成。青年部をつくり、750人、4ケタ

(5ページにつづく)

(4ページからつづく)

の組織にしたい。

◎本間昭一(北海道)

会員拡大を全支部に広げる活動について。

◎高山立(兵庫)

10支部を倍に、会員も1500人、2000人へ。

◎加藤ユリ(埼玉)

本部の副会長を呼んで女性の会の必要性を学び、女性の会を再開。

◎秦隆明(島根)

千代子映画の鑑賞者への入会の取り組みが弱かった。強めたい。

◎原田完(京都)

父は犠牲者。仲間を10人拡大して大会に参加。

◎高橋妙子(千葉)

11月10、11日に開かれる女性交流集会への多くの参加を。

◎守田達夫(千葉)

船橋支部を再結成。会議は集まりやすいように公民館ごとに開催。若い世代にも声かけを。

◎綱島信一(長野)

治安維持法を総括するような計画の予定について。

◎藤田廣登(顧問)

同盟発足当時の様子について。
文書発言

◎西田一廣(愛知)

◎南條佳弘(和歌山)

◎西田清(滋賀)

【記念講演会】



1日目午後、同じ会場で大会記念講演会が開かれ、渡辺治・一橋大学名誉教授

(同盟顧問)が「治安維持法交布100年と日本国憲法」と題して1時間半、講演しました。(写真)

渡辺さんは①治安維持法はなぜ「戦争と暗黒の政治」の武器になったか、②同法の教訓は日本国憲法と戦後の体制にどう生かされたか、③憲法を武器に「戦争と暗黒の政治」を許さなかったのかの歴史と現在、④「戦争と暗黒の政治」を目指す岸田政権、その企みに終止符を柱に分かりやすく展開。

「自公政権を倒し、『戦争と暗黒の政治』へのたくらみに終止符を打つ、その先に憲法の生きる日本とアジアの平和をつくる課題に挑戦しよう」と力強くよびかけ、会場は大きな拍手に包まれました。

同盟千葉県本部が総会

第51回同盟千葉県本部総会が6月7日、開かれました。昨年の総会で決めた『次期総会までに650人の会員』との目標を達成し、



652人の現勢で迎える事ができました。この1年で、船橋支部、海匝支部を立ち上げ、各支部での学習会や各種イベントも力

に、とりわけ昨年11月以来二ケタ拡大をやり抜き、この6月含め8カ月続けています。そして方針では、4ケタを視野に次期総会までに750人の会員を目指すことを決めました。

討論は11人の方が行い、会員拡大と支部の結成、飯島喜美顕彰碑建立の取り組み、女性部の活動、県版「不屈」の発行など多岐に渡りました。支部での拡大が当たり

前という変化が生まれています。それぞれの発言が実践を伴うもので質の高い、元気の出る総会となりました。

来賓として日本共産党小倉県委員長があいさつ。

民青同盟から「民青の活動を支え、原水爆禁止世界大会代表派遣の募金」の協力の訴えがあり、3万円余の募金が寄せられました。また、桂壮三郎監督よりメッセー

ジが寄せられ紹介されました。(千葉県本部事務局長・小松 敦)

平和の「おばちゃん」武田とよさん 武田とよさんは、駅前で黄色い署名用紙を持ち、静かに「お願いします」と声をかけていた。彼女は「戦争はダメ」というメッセージで署名を集め、時には警察からの嫌がらせにも動じず、1年間で2000筆以上の署名を目指していた。駅前で平和の象徴として知られるようになり、多くの支援を受けていた。この話を聞いた私は、とよさんに触発されて、自分も署名活動を頑張ろうと思った。(大阪本部堺支部・武田喜久子)

抵抗の群像



地下鉄もぐら争議の勝利の後、 京浜地域のオルグとして

森下いく

森下（旧姓三浦）いくさんは1912（大正元）年、福島県二本松市に生まれました。県立福島高女を卒業後、福島女子師範二部を受けましたが失敗、父の仕事（生糸・絹織物）を手伝いました。

その間、兄の手紙で読書のすすめもあつて上京。『無産者政治教程』や『共産主義ABC』などを学んでいました。

世界恐慌のあおりで、失業者が多く就職難。いくさんは新聞で地下鉄ストア開店の募集広告を見て、受験し採用されました。会社の適性検査では、算数の成績が良かったのでレジスターに配属。ストアは5階建てで店員250人、エレベーター20人、レジスター50人、食堂50人。職場の女子は全員が未婚者でした。

そのころの日本は不景気で、労

働争議は戦前最高の件数に。32年3月、いくさんらも待遇改善などを求めてたたかいに立ち上がりました。東京地下鉄労働者のストライキは「もぐら争議」といわれ、二十歳前後の若い男女組合員による見事な団結の勝利でした。

しかしストライキを終結した数日後、いつせいに検挙、弾圧されました。初めてだったので、いくさんを含めほとんどが不起訴で釈放されました。

地下鉄争議のあと、いくさんは全協（日本労働組合全国協議会）のオルグとして神奈川に派遣されました。神奈川の全協の人は森下覚でした。森下は1906年、東京・目黒生まれ。いくさんがのちに、目黒にある東京工業大学で学会誌の編集にかかわっていた時、森下と偶然再会。2人が結婚したのは37年でした。

32年10月ごろ、横浜市電の争議があるので、交運労組の出身だということで、いくさんは仲間と2人と応援に出かけました。

伊勢佐木町周辺と思われる街角に行くと、周囲には黒っぽい服を着た男たちが張り込んでいました。あつという間に特高たちに取り囲まれて検挙されました。いくさんたちより前に捕まった人から情報をつかみ、いくさんたちが来るのを待ち構えていたのです。

いくさんは戸部署に回され、すぐに特高のテロが始まりました。椅子もない板の間の部屋に入れられるなり特高は、いくさんの胸元を締め上げると着物をはぎ取り裸にして、革靴で所かまわず蹴り続けました。背中を踏みつけたり、蹴とばしたりされたので両太腿は紫色に腫れあがりました。気を失うとバケツの水をかけ、タバコ之火を尾骶骨や太腿などに押し付けました。

横浜港の水上市署に移された後も野獣のようなテロが繰り返されました。こんどは起訴され、横浜刑務所に収容されました。

寒いだらうと心配した母から毛が抜けた毛布が差し入れられました。母が足を温めていたものです。いくさんを苦しめたのは食事で、喉を通らず栄養失調で身体が衰弱。救援会も弾圧され、頼るべき弁護士もいません。父が仙台の弁護士を頼んで、執行猶予4年で家に帰れることができました。

迎えにきた父は、編み笠をかぶりやせ細った体で現れたいくさんを見て、懷からてぬぐいを取りだして涙を拭きました。34年、二本松に帰り、父の仕事を手伝いながら体の回復につとめました。

戦後の46年、上海から目黒区に引き揚げた森下の自宅に、いくさんは、子ども3人とともに二本松から合流。すぐ自宅2階に赤旗をかかげて「日本共産党生活相談所」の看板をかかげて活動しました。その後もいくさんは、「生活と健康を守る会」や「礎（いしずえ）会」などで活動。2014年7月に永眠。101歳でした。（『夜明けをめざして―治安維持法下になたかった人びと・神奈川県』から抜粋）

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

駅構内に寝起きし初老今朝消えて臭気のみ残る薄暗き陽
 埼玉県 白川 洋子

同じ卓に三人座り居るけれど皆耳遠く会話難し
 大分県 渡辺 幹生

病持ち君会員増やし署名また活動効果果を凌ぐ
 静岡県 江川 佐一

百年の歴史誇れる党だから百年先の未来を語る
 埼玉県 新井たくみ

大軍払いよいよ9条投げ捨てか戦争国民よ許すな
 兵庫県 岸本 守

七〇年余ともに生きた党の本部妻と訪ねる初の見学
 岐阜県 田中 良

下総の青田の果ての筑波嶺に鳥啼き帰る夏の夕暮れ
 埼玉県 福家 駿吉

助成金企業献金二重取りを平然として三〇年も
 岐阜県 和田 昌三

武器輸出反対叫ぶ若者ら私の分まで声張り上げて
 島根県 小玉 信恵

月高く山静まりて啼き交わすオットート※は今年も
 岩手県 牛山 靖夫

聞けるや(※仏法僧)
 新潟県 牛山 靖夫

(選のあとに) 白川作品は絶えず初老の人への関心
 を持っていることを示す。渡辺作品、皆、若く元氣
 で活動した時代であったことを言外に。江川作品の
 結句の「菓を凌ぐ」は作者の巧みな表現。

俳句

望月たけし選

首都決戦燕と行く手共にする

神奈川県 天野三葉子

武器輸出否と多数派青嵐

東京都 岡崎たかね

麦秋や先達の碑に手を合わす

三重県 橋本しげる

ホームレス何処で眠るや炎暑日は

東京都 深野 緑子

新「戦前」否転換期夏すじ雲

埼玉県 小池 莊八

〈評〉一句目、歴史的チャンスとして都知事選が行
 われています。この号の発行は結果後となりますが、
 共闘候補の蓮舫さんが勝利し、みんなで次の東京を
 めざしていきたいものです。

川柳

鈴木いさお選

金権の政治許さぬ審判を

大阪府 大和 峯二

〈評〉「政治にはコストがかかる」と本音をのぞか
 せた総理、政権の末期を垣間見る。地方選、都知事
 選、そして近づく国政選挙に国民の厳しい審判が下
 る。

放棄する専守防衛新憲法

大阪府 佐々木雅博

捧げ銃脳裏をよぎる血の匂い

北海道 三隅 雅游

そのうちに異常気温が平年に

東京都 稲邑 明也

裏の裏表が出ない闇世界

同盟文芸川柳欄へのご投稿を心
 からお待ちしております。

川柳撰者 鈴木いさお

川柳は、五七五の十七音字によ
 る短詩文芸で、季語を持ち、主に
 自然や花鳥風月で詠む俳句に対し、
 人間の心を詠み、社会諷刺や政治
 への批判世の中や身のまわりの出
 来事を詠むのが特徴です。

世の中を見渡してみますとロシ
 アによるウクライナ侵攻、イスラ
 エルによるパレスチナ攻撃。更に
 は地球温暖化による自然破壊や生態
 系の崩壊。また国内に於いて政権
 党の腐敗した金権体質、円安・物
 価よる国民生活の疲弊、押し寄せ
 る少子高齢化、情報の多様化によ
 る混乱と犯罪の多発等々、川柳を
 詠むための題材には事欠きません。
 今こそ、皆さんの思いや心の叫
 びを、川柳という十七音字に乗せ
 て訴えようではありませんか。そ
 して、紙面を通じて、読者の皆さ
 んと思いを共有しようではありませんか。

(最近の秀句)

殺し合い防く知恵あせ人同よ
 処理水と土壌をこえても汚染水
 る袋の害知り冬くし再稼働
 少子化に思うは懐良子は宝

穂博
 中野
 幸二
 敏吉

第41回大会全国大会成功 めざす「会員拡大特別期 間」の成果(24年6月31日)

○10人拡大挑戦者

北海道・畠山忠弘 27人

千葉・歌代英蔵 19人

千葉・鈴木勉 20人

神奈川・渡邊喜代子 10人

静岡・小澤睦夫 14人

京都・早崎末浩 10人

奈良・原田完 10人

兵庫・加藤宜之 12人

兵庫・高山立 10人

○5人拡大挑戦者

北海道・佐々木秀之 8人

倉本昭孝 6人

横山博子 5人

本間昭一 5人

秋田・大橋千鶴子 5人
新潟・遠藤嘉恵 6人
埼玉・小日向昭一 5人
埼玉・東山寿美子 5人
千葉・大野辰男 5人
千葉・小松実 5人
東京・小松敦 5人
東京・吉田万三 5人
神奈川・色部祐 5人
神奈川・中村茂樹 5人
石川・手塚勇夫 5人
静岡・尾西洋子 5人
静岡・江川謙一 9人
兵庫・芝田令子 6人
兵庫・佐野正明 5人
兵庫・築谷時雄 8人
岡山・南條佳弘 5人
岡山・福井正樹 5人
岡山・河井伸士 5人

第33回全国女性交流集会

日時 2024年11月10日(日)～11日(月)

会場 愛知県・蒲郡温泉郷 ホテル竹島

記念講演 今につながる治安維持法体制に決着を

まだ生きている治安維持法(仮題)

講師は、治安維持法同盟中央本部副会長の小松実さんです。来年の治安維持法施行100周年を前に治安維持法と現在の状況について学びます。

全体会では、その他、治安維持法犠牲者小松ときさんのご息・小松伸哉さんのお話と菱谷良一さんのビデオ上映を予定しています。分科会等は決まり次第、お知らせします。

『学習テキスト』を支部で、班で読みあいましよう！



「3・15事件」から40周年にあたる1968年3月15日、治安維持法犠牲者たちによって「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」が結成され、半世紀以上経過しましたが、日本政府は、犠牲者たちに対する謝罪も賠償も未だ行おうとはしません。

本学習テキストは「新しい戦前」と言われる今日にあって、私たちの活動の立ち位置、進むべき方向について詳しく丁寧に解きあかしています。発行…同盟中央本部 (A5判80頁、頒価500円、送料180円)

事務局日誌

6月6日 不屈編集会議

6月7日 千葉県本部総会

6月18日 三役会議

6月19日 常任理事会

6月19日～20日 第41回全国大会

同 会 夕食懇親会

6月20日 東京都都知事選告示

6月23日 新潟県本部総会

好評発売中

『治安維持法と現代』

2024年春季号 (47号)



◆治安維持法犠牲者に国家賠償を求める請願の23年度紹介議員のみなさん(衆・参両院一覽)◆【巻頭】自民党の教育政策の功罪=前川喜平、緊急事態改憲論の問題点=小沢隆一、経済安秘密法案の危険な仕掛け=井原聰【学習コーナー】自民党松岡の裏金事件の組織的犯罪=山本豊彦、「維新の会」をどう見るか=小松公生、柳河瀬精氏が遺した仕事=小松実【話題の現場】「唯一の全国紙」掲げる読売新聞=大手町一【エッセイ】「立春大吉」を語る=浅尾大輔【闘いと抵抗の群像】長野2・4事件と信濃教育会、満蒙開拓青少年義勇軍=立沢和樹、ダダ・カンスケの生涯=江崎淳、近内金光と治安維持法=田中徹歩【研究】三閉伊一揆170年=牛山靖夫、治安維持法下の東北のたたかい=土井洋彦【同盟活動】滋賀・兵庫・島根・岡山・千葉・愛知・石川・北海道・山梨・東京

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。